

社会で活躍する人財を育成する



阪神まち大学

HANSHIN MACHI COLLEGE

2017-18 実践講座レポート

起業、行政、団体等と協働した実践型プロジェクト活動 / 月2回+a

企業や行政、団体との協働プロジェクトを通じて、社会で活躍するために必要な知識やスキル・仕事のノウハウを学ぶ！

●対象・受講料

阪神地域 21 大学・短期大学の学生

基礎講座+実践講座 … **3,500 円**

●講座のねらい

企業や行政、商店街、地域との協働プロジェクトを通して、自ら目標を設定し解決するための活動を実施する力を身につけ、さらには協働する社会人から仕事のノウハウや社会に必要な知識やスキルを学ぶ。

●講座の概要

実践講座は、受講生と企業や行政、商店街、地域とが協働で進める4つのプロジェクト（コース）で構成し、各プロジェクトの活動に最低限必要な知識やスキルは基礎講座で身につける。

また、各プロジェクトでは、協働先から提供されるテーマに沿って、学生が自ら目標・課題を設定し、それを達成・解決するための活動を実社会で実施する中で、協働する社会人から仕事のノウハウや社会に必要な知識やスキルを学ぶ。また、複数の異なる大学・専攻の学生が集まって、企画から実施までの一連のプロセスを経験することで、人と一緒に活動する、議論する等の社会人として必要なチカラを身に付ける。

●講座

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ①商店街プロジェクトコース | (連携団体：尼崎中央三丁目商店街振興組合) |
| ②日本酒-ものづくりコース | (連携団体：辰馬本家酒造株式会社) |
| ③まちづくりプロジェクトコース | (連携団体：津門川町福祉会) |
| ④イベントプロデュースコース | (兵庫県阪神南県民センター) |

①商店街プロジェクトコース

阪神まち大学 × 尼崎中央三丁目商店街振興組合

ご当地アイドルオーディションを誕生させる商店街プロジェクト

●活動概要

■提供されたテーマ・課題

尼崎中央三丁目商店街との協働プロジェクト。

これまで、阪神タイガースの優勝マジックの点灯、商店街プロレス、アイドルコンテスト、売り出し等、様々な取り組みを行ってきた当商店街だが、商店街の活動に尽力してくれる独自のご当地アイドルをつくりたいということで本プロジェクトを実施した。

■活動内容（学生が担った部分）

どんなアイドルにするのか、どうやってたくさんの人・地域の方を巻き込んだオーディションにするのか、オーディションはどうやって開催するのか等のコンセプトを学生が主体となって企画し、実施スケジュールを練り、その都度商店街に確認を取りながら実施までを行った。

他地域との差別化を図り“尼崎中央三丁目商店街らしさ”を出すこと、“商店街に貢献してくれるアイドル”にすることをコンセプトに、男性アイドル「Mr.AMAGASAKI」を公募することとした。当初は募集に苦労し、なかなか応募者が集まらない中、阪神地域の若いパフォーマーやミュージシャンにターゲットを絞り、路上やライブハウスで活動・練習する方に学生が一つ一つ声掛けをする等、広報を行う絵でもターゲットとを意識して広報の仕方を工夫した。また、学生ならではの SNS を活用した広報も展開した。「Mr.AMAGASAKI」を決めるオーディションでは、“商店街に貢献してくれるアイドル”かどうかを見極めるために、ステージ上のパフォーマンスによる審査に加え、商店街の方と直接会って話をする機会を設けるなど、商店街に本当に寄与してくれる方なのかを見極められるように工夫した。

オーディション当日は、当初予想していた以上に多くの方が見物され、ケーブルテレビや新聞の取材も多数入り、非常に盛り上がったイベントになった。

9-10月	尼崎中央三丁目商店街を知る
10-11月	アイドルオーディションのコンセプトづくり 全体スケジュールの作成、広報計画の企画
11-12月	チラシ・ポスターのデザイン・制作、募集要項の作成
1-2月	募集開始（広報実施）、チラシ・ポスターの配布、SNSでの広報 個別に路上やライブハウス等にも広報（2/10 募集〆）
2月	審査方法の企画、オーディション当日の企画・準備 2/25（日）オーディション開催

●活動成果

応募件数：9件

結果的には応募件数が9件と数としては多くないものの、いずれの応募者も商店街への思いが強く協力的な方ばかりであった。その中から最終的に選ばれた「Mr.AMAGASAKI」の方は、特に商店街への思いが強く非常に協力的な方で、商店街の方々がこの結果に満足度を示してくださったのが何よりの嬉しい結果であった。

応募段階、当日の実施段階ともに、この一連のプロジェクトでは多くのメディアに取り上げられ、もう一つの商店街の認知度を高めるよい結果であった。

プロジェクト実施後の振り返りでは、商店街の方からは1回で終わるのでなく次についても考えていかなければという非常に前向きなコメントもいただき、商店街の方々の満足度も高いプロジェクトであった。また、「男性アイドル」という学生ならではの奇抜なコンセプトで、学生が企画実施するということは、話題性や他所との差別化にもなり、協働プロジェクトを行った成果であったように思われる。

●ミーティング

日にち	時間	内容	場所
9月27日(水)	19:00-21:00		こみサポ
10月5日(木)	19:00-21:00		こみサポ
10月20日(金)	17:30-19:00		こみサポ
10月25日(水)	19:00-21:00		中央三丁目商店街
10月26日(木)	19:00-21:00		こみサポ
10月27日(金)	19:00-21:00		こみサポ
11月1日(水)	19:00-21:00		こみサポ
11月3日(金)	20:00-21:00		中央三丁目商店街
11月21日(木)	19:00-21:00		こみサポ
11月23日(木)	19:00-21:00		こみサポ
11月28日(火)	19:00-21:00	中間報告会	こみサポ
12月5日(火)	19:00-21:00		こみサポ
12月7日(木)	19:00-21:00		こみサポ
12月12日(火)	19:00-21:00		こみサポ
12月15日(金)	19:00-21:00		こみサポ
12月19日(火)	19:00-21:00		中央三丁目商店街
12月16日(土)	8:30-18:00	阪神つながり交流祭	武庫川女子大学
12月28日(木)	19:00-21:00		中央三丁目商店街
1月14日(日)	16:30-18:30	神戸新聞取材	こみサポ
1月30日(火)	14:00-16:00	ベイコム取材	ベイコム
2月1日(木)	17:00-20:00		こみサポ
2月16日(金)	19:00-21:00	商店街下見	中央三丁目商店街
2月24日(土)	14:00-16:00	準備	中央三丁目商店街
2月25日(土)	9:00-16:00	アイドルオーディション	中央三丁目商店街
3月13日(火)	19:00-21:00	振り返り	中央三丁目商店街
3月20日(火)	17:30-19:00	連絡会議	大学交流センター

●活動の様子 (写真)

»ミーティング



»チラシ



賞金10万円

あなたの個性を活かして尼崎中央三丁目商店街を盛り上げてみませんか？
(歌で、ダンスで、お笑いで、筋肉で、マジックで、何でもOKです！)

Mr. AMAGASAKI

募集中！
※切:2018年1月19日(金)

2018年 2月25日(日) 13時より『公開オーディション』開催
(尼崎中央三丁目商店街タイソー横の特設会場)

応募資格 阪神地域周辺にお住まいの男性 ※グループ応募可
年齢不問 ※未成年不可

応募方法 メールで2分程度の自己PR動画を送ってエントリー
▶ 詳細はホームページへ 検索 Mr. AMAGASAKI

申込先・問合せ先 NPO法人コミュニティ事業推進ネット ㈱ AMAGASAKI 様まで
〒650-0095 兵庫県尼崎市東通町1-2-20 電話0798-24-1388
E-mail: mr.amagasaki@nishiida.com TEL: 0798-24-1388

主催: 尼崎中央三丁目商店街振興協会 阪神赤十字大学前山プロジェクトチーム 協賛: 尼崎中央三丁目商店街 協賛: 尼崎中央三丁目商店街 協賛: 尼崎中央三丁目商店街

神戸新聞の取材



笑顔で尼崎盛り上げて
商店街 男性アイドル募集

「Mr. AMAGASAKI」を企画した寺井利一理事長(中央)ら「尼崎市神田通」...

個性を生かして商店街を盛り上げる男性アイドル募集も可能。歌やダンスにたまりける男性アイドル募集。お笑いや手品、筋書き、Mr. AMAGASAKI 様々なジャンルは問わない。スター・アマガサキをいよいよ公開オーディション。尼崎の尼崎中央三丁商店街の尼崎中央三丁商店街振興組合が19日まで募集している。

同組合の主催。選ばれた男性は3月から1年間、商店街のイベントPR活動に参加し、同商店街の活性化に役立ち、対象は阪神地域とその周辺に住む20歳以上の男性。

寺井利一理事長(56)は「尼崎に思いがある人に来てほしい。選ばれた人が大活躍してくれると全力バックアップする」と呼び掛けた。

応募は、住所、名前、職業、電話番号、生年月日を入力の上、写真と約2分のPR動画を添付し、メール(mr.amagasaki@machida.com)、NPO法人エニシティ、事業支援ネット0798・23・3738(小谷 穂)

神戸新聞
 (平成 30 年 1 月 17 日掲載)

ケーブルテレビの撮影



Mr.AMAGASAKI オーディション当日の様子



星山さん、商店街盛り上げへ

個性を生かして尼崎中央三丁の目商店街と尼崎を盛り上げるアイドル「Mr. AMAGASAKI」を運営する「開店」の出演者として、来年3月まで商店街のPR活動やイベントに参加する。

星山さんは以前居酒屋を経営していた時期、同商店街で食材を仕入れていたという。「尼の人々の人情深く、頑張りがあってサビンをしてくれて、感謝しをした」と、同商店街振興組合の寺井利一理事長(56)は「星山さんはエネルギーが豊富で、一緒に商店街を盛り上げていきたい」と話していた。(白田 貴子)



朝日新聞 (平成 30 年 2 月 26 日掲載)

②日本酒-ものづくりコース

阪神まち大学 × 辰馬本家酒造株式会社

酒造り体験、蔵開きの企画で酒造りの魅力を発信する日本酒プロジェクト

●活動概要

■提供されたテーマ・課題

辰馬本家酒造株式会社との協働プロジェクト。

日本一の酒どころとして知られる「灘五郷」。中でも、辰馬本家酒造株式会社（代表銘柄：白鹿）は355年の歴史を有し、酒造りのみならず伝統文化の継承、教育、そして産業界のみならず様々な役割を果たしてきた日本酒メーカーである。一方、阪神地域は西宮を中心に多くの大学生が学生時代を過ごす特徴的な地域でもある。近年の若者の酒離れ、日本酒離れが進む中、多くの大学生は西宮に日本酒メーカーがあること、さらには日本酒づくりをしていることも知らずに卒業していく状況にある。大学生に酒造りを体験してもらい、さらには蔵開きのイベントに参画してもらい、西宮の酒、酒造りの魅力を若者に発信するきっかけにしたいということで本プロジェクトを実施した。

■活動内容（学生が担った部分）

蔵開きイベントの企画では

ターゲットを設定し、ターゲットに訴求する企画を提案し、実際にお客さんを相手に実施することを行った。そのため、白鹿のコンセプトは何か、蔵開きに来てもらいたいターゲットはどこか、その中で学生ならではの企画として何ができるか等を考え、白鹿の社員の方が集まる蔵開きの企画会議で提案した。当初は企画が漠然としていたり、実施主体が不明瞭であったりしたため、社会人の目線から暖かくも厳しい指摘をしていただくことも多くあった。結果的に、“子ども連れの家族層にも来てもらいたい”というコンセプトと、“学生らしく自分たちの力でできること”を念頭に企画し、「スタンプラリー」と「日本酒ボトルのデコレーションワークショップ」を実施した。スタンプラリーは台紙やスタンプもオリジナルのものを学生が作成し、デコレーションも日本酒を買った特典として子どもに楽しんでもらえるように、“白鹿の日本酒”を家に帰っても忘れず、子どもにも印象づけるような工夫をした。

酒造り体験では

六光蔵（酒蔵）に入って日本酒が出来るまでの工程を学び、実際に酒造りを体験した。洗米の作業（1秒単位で時間を計り、洗米後の吸水した水の重さを含めた米の重さまで見られる作業）や、床もみという社員の方もなかなか入れない麹室という部屋で、蒸したお米を台の上に広げて、麹菌をふりかけ全体に馴染ませる作業を行い、他にも蒸米、仕込み、上槽、澱引き、濾過等、ありとあらゆる作業の見学や体験をさせてもらった。

9-11月	白鹿、酒造りに関する基礎知識の勉強
11/28（火）	プロジェクト実施に向けた説明（社長の思いを聞く）

	全体スケジュールの作成、広報計画の企画
12-2月	蔵開きの企画（社内企画会議に参加）
2月	学生ならではの企画を提案、実施に向けての準備
2/17（土）	蔵開き開催「白鹿 蔵開きソトノミフェス～つくる。新たな日本酒の世界～」
2月	酒造り体験

●活動成果

白鹿 蔵開き ソトノミフェス

来場者：4,000人（スタンプラリー参加者：850人）

子ども連れの家族にも来てもらえる企画をということで、杉玉（酒林）づくり等の子どもにも参加してもらいやすい企画もあったが、どうしてもお酒を飲む方がメインになってしまう中、学生が企画したスタンプラリーや日本酒のボトルデコレーションワークショップは、純粋に子ども連れの家族がのんびり楽しめる企画として非常に好評であった。子ども連れの家族を対象にした企画として目標を達成することができたように思う。また、お酒を飲むイメージが強いイベントの中で、手作り感のある家族向けの企画を行えたことは、学生が協働で実施した成果であったように思われる。

一連の活動を通して、参加学生の日本酒に対する思いが強くなり、プロジェクトとは別の機会に友だちとの会食の際に白鹿の日本酒を飲んだり、日本酒の蔵めぐりを行ったり、と確実に日本酒の魅力を感じ、それを周囲に発信するファクターになっている。

●ミーティング

日にち	時間	内容	場所			
9月25日(月)	19:00-21:00		こみサポ			
10月12日(木)	19:00-21:00		こみサポ			
11月28日(火)	9:00-12:00		辰馬本家酒造(株)			
11月28日(火)	18:00-21:00	中間報告会	こみサポ			
12月4日(月)	19:00-21:00		市民交流センター			
12月11日(月)	19:00-21:00		市民交流センター			
12月14日(木)	14:00-16:00	蔵開き実行委員会	辰馬本家酒造(株)			
12月14日(木)	19:00-21:00		こみサポ			
12月16日(土)	8:30-18:00	阪神つながり交流祭	武庫川女子大学			
12月28日(木)	10:00-12:00		こみサポ			
1月23日(火)	10:00-12:00		市民交流センター			
2月6日(火)	10:00-12:00		辰馬本家酒造(株)			
2月14日(水)	16:00-18:00		こみサポ			
2月16日(金)	15:00-17:00		辰馬本家酒造(株)			
2月17日(土)	8:45-16:00	蔵開き	辰馬本家酒造(株)			
3月20日(火)	17:30-19:00	連絡会議	大学交流センター			
酒造り体験	9:00-15:30	@辰馬本家酒造(株)				
	2月 13日(火)	14日(水)	20日(火)	21日(水)	26日(月)	27日(火)
	3月 6日(火)	7日(水)				

●活動の様子 (写真)

»ミーティング



»酒造り体験



»蔵開き「ソトノミフェス〜つくる。新たな日本酒の世界〜」



GoGo! 第五期!

西宮 蔵開き 2018

週末ごとの酒蔵開放

お酒は20歳になってから。飲酒運転は、絶対止めましょう。

試飲有 無料

寶娘	徳若	白鹿	日本盛	大関	白鷹
2/3 (土)	2/10 (土)	2/17 (土)	2/24 (土)	3/3 (土)	3/4 (日)
11:00~18:00 (全席) 大澤 本家酒造	11:00~16:00 (全席) 万代大酒造	10:00~15:00 (全席) 尾島 本家酒造 本社 豊島内	10:00~15:00 (全席) 日輪酒造 徳田 三浦 三浦 三浦 三浦 三浦	10:00~15:00 (全席) 大関 存製酒	11:00~15:00 (全席) 白鷹 本家酒造

西宮台 西宮日本酒振興連絡会 TEL.0798(35)3071 公式ホームページ http://nishinomiya-kanko.jp/kurabiraki



オリジナル びんづくり

無料

飾りをたくさんつけて、オリジナルのびんをつくらう!

※お酒のびんはテントで買ってきてね。

会場：阪神まち大学「日本酒ものづくりコース」

スタンプラリー

無料

4つ集めたときに、白鹿の「おちよこ」が「白鹿ピコズ」をプレゼント!

※お紙は受付でもらってね。

会場：阪神まち大学「日本酒ものづくりコース」

③まちづくりプロジェクトコース

阪神まち大学 × 津門川町福祉会

交流イベント、瓦版の作成・発行で自治会に関わる人を増やすプロジェクト

●活動概要

■提供されたテーマ・課題

津門川町福祉会との協働プロジェクト。

津門川町福祉会（自治会）では、住民の交流・親睦のためのイベント実施や自治会の役割を知ってもらうための『津門川町こんなところ』の作成等、自治会加入促進のための活動に取り組んできた。しかし、住民の4割が国勢調査ごとに入れ替わる今津地域、中でも阪神今津駅・阪急今津駅に隣接する極めて好立地な津門川町においては、近年マンション建設が進み、新たな若い世代の住民が増え、同時に子どもの人数も増え、福祉会（自治会）に関わる人、加入する人が少なくなっている。そこで、自治会の枠にとらわれず町に住む人が顔見知りになるための交流イベントを開催したい、さらには地域のつながりの大切さを知ってもらいたい（結果的にかわら版を作成することに）ということで学生との協働プロジェクトを実施した。

■活動内容（学生が担った部分）

交流イベントの企画・実施では

人数が増えていて、一緒に保護者にも参加してもらえる子どもを対象とした内容（むかし遊び、ポッチャ等）を企画した。それぞれの企画内容には、地域の若い方が活躍できるように担当についてもらい、自治会の中にも交流が生まれるように工夫した。また、全4回行ったミーティングのファシリテーター役と板書役を学生が務め、地域の方と学生双方からの意見が出やすいような会議進行を行った。

瓦版「つながり」の作成では

“つながり”をテーマにしたか津門川町瓦版「つながり」を、原稿づくりからデザインまで全て学生が行った。

「かわら版」には、「過去」「現在」「これから」の3つのカテゴリーで“つながり”を感じられる出来事を掲載した。中でも、「過去」の内容をつくるために長く地域に住む方にインタビューをしたところ、今の自治会の方もほとんど知らない、昔の住民が市に働きかけたことによって地域の「あそび場」がつくられたことを改めて知る機会になった。

10月	津門川町の現状を知る、津門川町福祉会の方の思いを知る
11-12月	交流イベントの企画・準備、チラシの作成・配布
12/3（日）	つとがわ町あそびの日の開催
12-1月	つとがわ町あそびの日の振り返り、かわら版の企画
1-3月	瓦版「つながり」の作成、デザイン
3/26（月）	瓦版「つながり」の配布

●活動成果

比較的協力的な方が多い津門川町福祉会であるが、地域の役員の方の高齢化が進み、次の担い手を育成していく必要があった。今回の一連のプロジェクトでは、やはりまだ地域の役員の方が中心ではあるが、若い子ども会のお母さん方が積極的に関わる姿が見られた。中でも、「つとがわ町あそびの日」では、若いお母さんやお父さんが会場準備やむかし遊びの担当をしてくださったりする姿が見られた。これも第三者の学生が主体となって進めたからこそ、学生が間の緩衝材となり役員の方と若い方とが直接対峙することなく、全員で同じ方向を向けたのではないかと考える。

「つとがわ町あそびの日」にはとても多くの方が来場し、中でも自治会に加入していない方が1～2割ほどいた。当日のアンケート結果を見ると、まだまだ課題はあるものの自治会に対する関心は高く、その必要性を感じている方は多くいたことがわかった。当初目的としていた自治会未加入の方にもきてもらい自治会に関心を持ってもらうという目的を達成することができたと思う。

つとがわ町あそびの日 来場者：140人

●ミーティング

日にち	時間	内容	場所
9月22日(金)	19:00-21:00		こみサポ
9月26日(火)	19:00-21:00		こみサポ
10月3日(火)	19:00-21:00		今津公民館
10月17日(火)	19:00-21:00		こみサポ
10月24日(火)	19:00-21:00		今津公民館
10月31日(火)	19:00-21:00		こみサポ
11月4日(土)	19:00-21:00		今津公民館
11月21日(火)	19:00-21:00		こみサポ
11月28日(水)	19:00-21:00	中間報告会	こみサポ
11月29日(水)	19:00-21:00		今津公民館
12月3日(日)	9:00-14:00	つとがわ町あそびの日	ポンプ場児童遊園
12月5日(火)	19:00-21:00		こみサポ
12月12日(火)	19:00-21:00		こみサポ
12月15日(火)	19:00-21:00		こみサポ
12月16日(土)	8:30-18:00	阪神つながり交流祭	武庫川女子大学
1月16日(火)	19:00-21:00		こみサポ
1月23日(火)	19:00-21:00		こみサポ
1月30日(火)	19:00-21:00		今津公民館
2月13日(火)	19:00-21:00		今津公民館
2月22日(木)	19:00-21:00		こみサポ
2月27日(火)	19:00-21:00		今津公民館
3月12日(月)	10:00-12:00		福祉会館
3月20日(火)	17:30-19:00	連絡会議	大学交流センター
3月26日(月)	12:30-16:00	津門川子ども会	福祉会館

●ミーティングの様子 (写真)



●「つとがわ町あそびの日」の様子 (写真)



●「つとがわ町あそびの日」のチラシ

HYOGO 150th Anniversary

つとがわ町 あそびの日

津門川町に住む大人から子供までみんなでたくさん遊んで交流を深めるイベントです！
津門川町福祉会と阪神まち大学の学生が協力して企画開催します！

<p>チーム対抗！陸上のカーリング！？ ポッチャ大会</p> <p>10:40～スタート！</p>	<p>ミッションをクリアしよう！ むかしあそびコーナー</p> <p>けんだま わなげ かるた おてだま こま</p> <p>11:30～スタンプラリーもあるよ！</p>	<p>みんなであったまろう たべものコーナー</p> <p>おにぎり 豚汁 フランクフルト</p>
---	---	---

日時 12月3日（日）10:30～13:00

場所 ポンプ場児童遊園（雨天時：あいあい館 住所：今津二丁目4-49）
雨天時はポンプ場児童遊園入口に最寄の案内ののりせを貼ります。

津門川町にお住まいの方 参加無料 出入り自由

主催：津門川町福祉会 / 阪神まち大学まちづくりプロジェクトコース 協力：NPO法人コミュニティ事業支援ネットワーク
阪神まち大学とは、阪神地域の大学に通う大学生が、地域企業、団体と連携した活動を展開して、自ら社会を築き出すことを目指すことのできるコミュニティ事業支援ネットワークを構築するプログラムです。

④ イベントプロデュースコース

阪神まち大学 × 兵庫県阪神南県民センター

兵庫県が開催する『阪神つながり交流祭』の企画運営を行うプロジェクト

●活動概要

■提供されたテーマ・課題

12月16日（土）に開催する兵庫県阪神南県民センターが主催する“大学生×地域の連携を促進する”ために行う「阪神つながり交流祭 2017in 武庫川女子大学」の企画運営を行った。県の事業として行うため、事業の枠組みやスケジュール感をしっかり持ってもらうため、阪神南県民センターの職員の方からのアドバイスやレクチャーを交えながら活動を進めた。

■活動内容（学生が担った部分）

事業の枠組みを押さえた上で具体的な目標を設定し、「学生や若者が興味を示し、関わりを持つためには？」を考えるイベントとした。この目標に合わせて各プログラムの内容を企画した。

「大学生による地域連携活動報告」では、大学生からの報告だけでなく連携先の地域にも参加してもらい、連携してどうだったのかというコメントをしていただき、大学×地域連携の魅力をさらに伝えるように努めた。また、「テーマ別ディスカッション」では、「まちづくり」「商店街」「地場産業・地元の産業」という3つのテーマで「学生や若者が興味を示し、かかわりを持つには」について参加者と大学生がディスカッションするプログラムとした。

こうして、参加者や学生に“大学×地域連携の魅力”を伝えるための企画とするためにミーティングを重ねた。また、イベント運営のノウハウについては、事業コーディネーターである NPO 法人コミュニティ事業支援ネットが有するノウハウをレクチャーし、学生が主体となって事前準備からチラシ作成、広報、出演者調整、会場設営、当日運営まで、「阪神つながり交流祭」の全体運営を行った。

9月	阪神南県民センターの職員の方から事業の枠組みをレクチャーしてもらう
10-11月	大学×地域連携を知る、自分たち独自の目標を設定
11月	「テーマ別ディスカッション」を企画
12/16（土）	「阪神つながり交流祭 2017in 武庫川女子大学」を開催
1月	振り返り、事業報告書のまとめ

●活動成果

阪神つながり交流祭 2017in 武庫川女子大学」を企画実施

開催日時：12月16日（土）13:00-18:30

開催場所：武庫川女子大学 甲子園会館

参加者：151名（出演関係者74名、一般参加者77名）

●ミーティング

日にち	時間	内容	場所
9月21日(木)	19:00-21:00		こみサポ
9月26日(火)	19:00-21:00		こみサポ
10月2日(月)	19:00-21:00		こみサポ
10月10日(火)	19:00-21:00		こみサポ
10月17日(火)	19:00-21:00		こみサポ
10月24日(火)	19:00-21:00		こみサポ
10月31日(火)	19:00-21:00		こみサポ
11月2日(木)	15:00-17:00	会場下見	武庫川女子大学
11月14日(火)	19:00-21:00		こみサポ
11月17日(金)	19:00-20:30		こみサポ
11月21日(火)	19:00-21:00		こみサポ
11月23日(木)	13:00-17:00		こみサポ
11月28日(火)	19:00-21:00	中間報告会	
12月5日(火)	16:30-17:30	会場下見	武庫川女子大学
12月5日(火)	19:00-21:00		こみサポ
12月12日(火)	19:00-21:00		こみサポ
12月13日(水)	19:00-21:00		こみサポ
12月14日(木)	19:00-21:00		こみサポ
12月15日(金)	19:00-21:00		こみサポ
12月16日(土)	13:00-18:45	阪神つながり交流祭	武庫川女子大学
1月30日(火)	19:00-21:00		こみサポ

●ミーティングの様子 (写真)



●つながり交流祭のチラシ

第8回 阪神つながり交流祭 2017
12月16日(土)

このイベントは、参加者である皆様と阪神地域でまちづくりの活動をしている団体や大学生との交流の場。是非イベントを通してまちづくりを身近に感じてください！街に住む、訪れるみんなが主役！是非お越しください。

13:00～18:30 (12:30～受付)
(交流会 17:45～18:30)
定員：150名 (事前申込・切：15日)
参加費無料 (交流会は実費500円)

地域の方・大学生
大学関係者
誰でもOK!

武庫川女子大学
甲子園会館
兵庫県西宮市戸崎町1-13
(JR甲子園駅駅から徒歩10分)
※駐車場はありません。
※公共交通機関をご利用ください。

大学・大学生 × 地域 = 刺激・新たな成長
一歩踏み出したい
チャレンジしたい
学びがほしい人
いらっしゃい!

プログラム

- ①地域連携活動報告
自分のまちをもっと知ろう!
- ②ブースセッション
お互いの考えを深めよう!
- ③ディスカッション
みんなで考えを共有しよう!
- ④交流会
希望者のみ (実費500円)

申し込み 第8回阪神つながり交流祭 募集
ホームページ・FAX・メールにてお申し込みください。
※他の方法も希望される方はお問い合わせ下さい。詳細は裏面へ。
TEL: 0798-23-3738 FAX: 0798-23-3748
MAIL: info@comissapo.com

お問い合わせ
主催 NPO法人コミュニティ事業支援ネット 〒662-0854 兵庫県西宮市植塚町2-20 西宮商工会館本館3階
つながり交流祭実行委員会 / 共催 兵庫県阪神南県民センター
企画運営 NPO法人コミュニティ事業支援ネット
後援 声優大学 / 声優学院短期大学 / 大阪芸術大学短期大学部 / 大手前大学 / 大手前短期大学 / 関西国際大学 / 関西学院大学 / 甲子園大学 / 甲子園短期大学 / 甲南大学 / 神戸女学院大学 / 産業技術短期大学 / 聖和短期大学 / 徳田学園女子大学 / 徳田学園女子大学短期大学部 / 宝塚大学 / 東洋倉庫工業短期大学 / 兵庫県立大学 / 滝川短期大学 / 武庫川女子大学 / 武庫川女子大学短期大学部 / 西宮市大学交流協議会 / 尼崎市 / 西宮市 / 芦屋市

● 阪神つながり交流祭

準備設営



開会式



大学生による地域連携活動報告



ブースセッション



テーマ型ディスカッション（テーマ1 自治会・地域コミュニティ）



テーマ型ディスカッション（テーマ2 商店街）



テーマ型ディスカッション（テーマ3 地場産業・地域産業）

